



青葉の笛だより

第40号

令和4年3月号

発行所：大本山 須磨寺

〒654-0071

神戸市須磨区須磨寺町4-6-8

TEL 078-731-0416(代)

<http://www.sumadera.or.jp/>

本年も一月八日から十四日まで、京都の教王護国寺（東寺）で厳修された、真言宗最高の儀式と言われる「後七日御修法」に、五年ぶりに出仕してまいりました。

御修法は、玉体安穩、鎮護国家、五穀成就、国土豊穰を祈る宮中の重要な正月行事として、一日から七日までを神事で、八日から十四日までの七日間を仏事で営み、この後半の七日が「後七日」と呼ばれています。

御修法は真言八祖の一人、唐の国の不空三蔵が皇帝のために行われた事にならない、お大師様が我が国でも始められたもので、承和二年の正月八日から十四日までの七日間、お大師様が大阿闍梨となり宮中の真言院において初めて厳修され、それ以降は南北朝の動乱による中断もありましたが、宮中における正月恒例の重要な法要として、連綿として執り行われてきましたが、明治四年の廃仏毀釈により御修法は廃止となりました。しかしながら、当時の高僧方の尊いご努力により、明治十六年一月八日より、道場を東寺の灌頂院に移して再興され、今に続いています。現在で

は八月初日の「開白」には、宮内庁より天皇陛下の御衣奉持の勅使が参向され、十一日の中日と最終十四日の結願の座にも道場に赴かれ、御焼香賜っています。

今年は嵯峨大覚寺の尾池泰道門跡親下を大阿闍梨に仰ぎ、供僧十四名、承仕と随行と三十六名、その他の関係

の僧侶や東寺の関係者を含めると、百名にもなるうかという方々の心を一つにしたお力によつて執り行われ、無魔成満しました。そしてこれも出仕者の留守を預かる方々あつてのものだと痛感しています。この法要に出させていただと、表しきれない感謝の気持ちでいっぱいになります。本当にありがたい法要です。

今回で七回目の出仕でしたが、毎回東寺の境内にある東寺保育園の園児さんたちが、十時からの出勤めに向かう私たちを日祭日以外の毎日、可愛い手を合わせ「南無大師遍照金剛」のご宝号を唱えて見送ってくれます。その声は深く心に沁み、ご真言と共に祈る力強さと尊さを思い出させてくれます。

お大師様の教えを實踐し、お互いに助け合い、お互いに尊敬しあう心で、国の安泰と国民の幸せを願う御修法に出仕出来た幸せを今もかみしめています。

大本山須磨寺 貫主

合掌

小池 弘三

十三まいり

来る四月二日(土)午後一時より、須磨寺本坊書院において、十三まいりの法要を厳修いたします。十三まいりとは、**数え年の十三歳**、つまり生まれた年の干支が初めて巡ってくる年に、虚空蔵菩薩に智恵と福德と健康を授けてもらいにお参りする行事で、別名「智恵詣」「智恵貫」とも言います。

虚空蔵菩薩とは、広大無辺の智恵と福德をお持ちで、それを総ての人に授けようとの御誓願のもとに、この世においてになる仏様です。大人へと歩んでいく子どもの成長を喜び、仏様のご加護を祈る、古くから続く日本の習わしです。ご家族で是非お参り下さい。



記

日時

四月二日(土)

正午受付 午後一時開白

場所

須磨寺本坊 書院

御祈禱料

五千円(お一人)

お申し込み

須磨寺派各寺院と須磨寺寺務所

お問い合わせ

電話(〇七八)七三二—〇四一六

前日までにご予約をお願いいたします。

※法要当日にご都合のつかない方は、後日個別にお勤めをいたします。お気軽にお問い合わせ下さい。

はなまつり

四月八日は、お釈迦さまのお誕生日です。日本全国で「はなまつり」と称して、お釈迦さまのご生誕を祝い、甘茶を誕生仏にかける灌仏会が催されます。

二千五百年以上前のインド、シヤカ族のシュッドーダナ王の妃であったマヤー夫人は、ある夜白い象が降りてきて自分の右わき腹の中に入る夢をみました。その後懐妊され、里帰りする旅の途中、ルンビニという場所でお釈迦さまをお産みになりました。お釈迦さまは、マヤー夫人の右脇から生まれ、七歩あるいて立ち止まり、右手を天に向け、左手を大地に向け、「天上天下唯我独尊」とおっしゃったといわれています。お釈迦さまの誕生を喜び、世界中の花が咲き誇り、甘露の雨が降ったといわれています。これが有名なお釈迦さま誕生の伝説です。この故事により、四月八日には花御堂と呼ばれる小さなお堂の中に、誕生仏をお祀りし、甘茶をかける灌仏会が行われるようになりました。

「天上天下唯我独尊」とは、広い世界で自分が一番尊いという意味になりますが、それはお釈迦さまの命だけでなく、他の人々や動物、草木など、生きとし生けるものすべての命が平等に尊いことを意味しています。生命尊重を意味するこの言葉こそ仏教の根本精神なのです。

須磨寺では、四月六日から八日まで灌仏会を行います。是非お参り下さい。



須磨寺 はなまつり (灌仏会)

かんぶつえ

日時 四月六日(水)から八日(金) 午前八時半から午後三時まで
場所 須磨寺 宝物館前 休憩所

蒼い山/LES MONTAGNES BLEUES

フランスから来日のデュオ+書家アーティストによるコラボ・ライブを、
須磨寺正覚院・阿字観道場にて開催!



5月2日(月)
18:30-

開場 18:00 / 開演 18:30 / 終演 20:00 頃

大人 3,000 円 /
学生・子供 1,500 円
※未就学児は無料・予約必須

— 出演 —

桃 蹊
(墨)

リュドヴィック・ベー・アー
(作詞作曲、ヴォーカル、ギター)

武田 洋子
(ヴァイオリン、サブ・ヴォーカル)

人のイノチの巡りと、自然が授ける不思議で優しい癒しの力を歌うシンガーソングライター、リュドヴィック・ベー・アー。武田洋子が温もりあるヴァイオリンの音色で寄り添い、奈良在住の書家・桃蹊(とうけい)が墨ライブ・ドローイングを繰り広げる、日仏コラボ企画。2020 年春に惜しくも中止となったイベントです。是非、足をお運び下さい。

創作旅行記プロジェクト[蒼い山]の特別サイト ⇨ lesmontagnesbleues.com
(記事、写真・ビデオなど) はこちら

●ご予約・お問い合わせ

yokowv@hotmail.com (武田)、078-731-0374 (正覚院)

蓮生院三月から七月までの行事予定

写経・瞑想体験会

お寺で写経と瞑想の体験会を致します。気軽にできる写経・瞑想体験ですので、経験のない方も気軽に参加いただけます。疲れた心を癒しにお越しください。(写経のみ、瞑想のみの参加も可能です。足を組みやすい服装でお越しください)

日時…三月十二日(土)

四月 九日(土)・十七日(日)

五月十四日(土)・二十二日(日)

六月十八日(土)・二十六日(日)

七月 九日(土)・十七日(日)

写経会十四時～十五時半

瞑想会十六時～十七時(受付は三十分前から)

場所…蓮生院本堂

参加費…写経五百円・瞑想会千円

護摩行

毎月、二十一日十四時から厄除け大師堂で、二十八日十四時から蓮生院本堂で護摩を修法しております。お参りは自由なので、護摩行中はご自由にお入りいただきお参りください。

写経・瞑想体験会は事前申し込み制です。

数日前から発熱、咳、下痢、頭痛、息苦しさなどありましたら、参加はご遠慮下さい。

マスク着用をお願いします。

当日お昼までに蓮生院の寺務所にお申込みいただくかお電話でお申し込みください。

諸事情により取りやめになることがあります。

蓮生院電話番号 ○七八ー七三一ー二三一一

神戸市まちなかアート補助対象事業～フルートコンクール応援企画～

さくらコンサート in 須磨寺

フルート & ピアノ、
ボーカル & ピアノ、
そして須磨琴の演奏会です。

クラシックからジャズ、ポップス、
日本の童謡、民謡、古典曲まで
ジャンルを超えて「・さくら」に
ちなんだ曲を交えながら
春の調べをお届けします。

令和4年 3月27日(日)

時間：14:00～/15:30～

場所：須磨寺正覚院阿字観道場

入場無料 出入自由

出演

一絃須磨琴保存会

FluteDuo

スミレ



木田浩世 古武清美
小池美穂 朝倉理代
小松原彩子



Fl. 川端裕美

Pf. 田中洋子



Vo. 戸田裕美 Pf. 三浦敦子

お問合せ：[Smi le Music] 代表三浦 <https://atsukey.jimdo.com>

アクセス：市バス「天神下」下車北へ12分、JR「須磨駅」下車北へ12分、山陽、阪神、阪急電車「須磨寺駅」下車北へ5分

ご来場時にはマスク着用等感染対策にご協力をお願いします。会場は土足厳禁なのでスリッパ等のご持参をおすすめします。

大本山須磨寺 春季大祭 本尊慶讃法要

日時 四月二十四日(日) 午後二時開闢 場所 須磨寺 本堂 参拝自由



来る四月二十四日、午後二時より、須磨寺本堂におきまして、「大本山須磨寺 春季大祭 本尊慶讃法要」を厳修いたします。

須磨寺派の寺院住職が一堂に集い、ご本尊聖観世音菩薩様の威光をたたえ、世界平和、万民豊樂を至心にお祈りいたします。

法要後は、お参りの皆様を特別に本堂内陣にご案内いたします。国指定重要文化財の宮殿仏壇、鎌倉時代の十一面観音立像、六観音菩薩等を目の前でお参りいただけます。

年に一度の機会でございますので、ご知友お誘い合わせて、どうぞお参りくださいませ。

